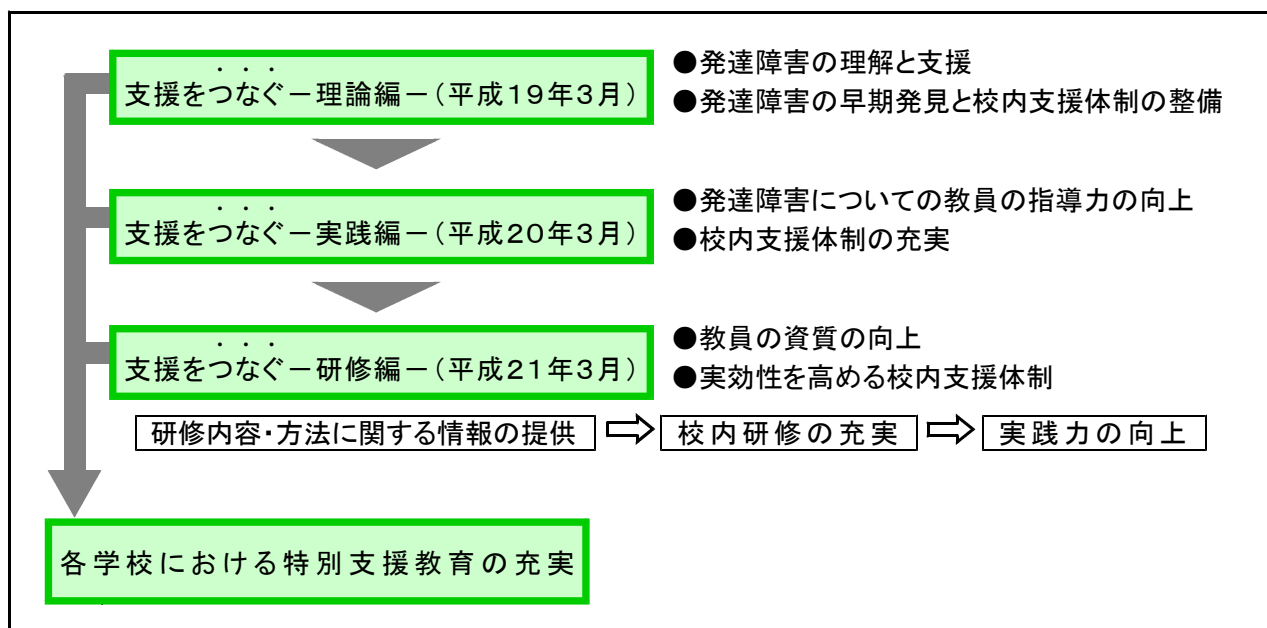


研修テキスト「支援をつなぐー理論編・実践編・研修編ーについて」

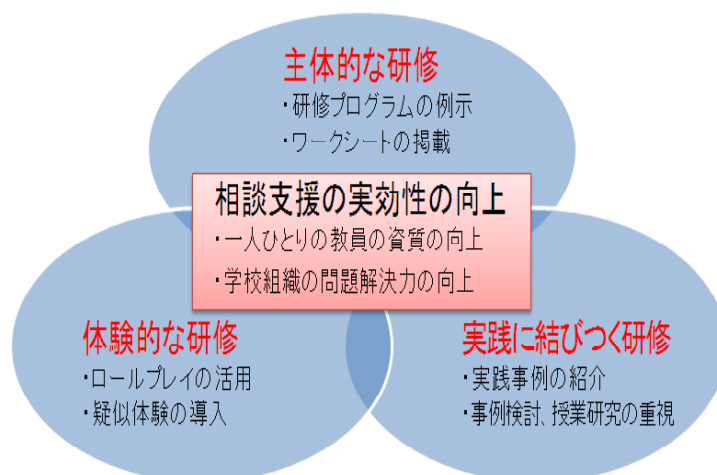
研修テキスト「支援をつなぐ」は、三部構成となっています。



「支援をつなぐー理論編ー」は、特別支援教育の理念と基本的な考え方、発達障害の理解と支援、学校や家庭での支援などを学ぶことにより、担任や保護者など身近にいる人が、発達障害に早期に気づき、早期からの適切な指導と必要な支援につなげていくことをねらいとして編集しています。

「支援をつなぐー実践編ー」は、事例検討会の進め方、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における授業等の中での指導事例、校内体制による支援の実践例などを学ぶことにより、発達障害についての教員の指導力の向上や、各学校の相談支援体制の充実を図ることをねらいとして編集しています。

「支援をつなぐー研修編ー」は、発達障害の理解、発達検査の活用方法、校内支援体制を充実する手立て、保護者や関係機関との連携のための研修内容・方法を学ぶことにより、教員の特別支援教育についての資質の一層の向上と、各学校の相談支援体制の機能の強化を図ることをねらいとして編集しています。



以上の3冊のテキストを活用し、幼児児童生徒一人ひとりの実態に即した適切な指導及び必要な支援の充実に努めてください。

テキストの活用方法

本テキストに掲載している研修項目は、「特別支援教育の理解」「校内の実態把握」「指導や支援の計画の立案」「支援の実施」「特別支援教育の評価・改善」といった、各学校の実情に応じて参照できます。



本テキストは、「特別支援教育を進めるために」「発達障害の理解」「発達検査の活用」「事例検討会の進め方」「実践的指導力の向上」「校内支援体制の整備・充実」「保護者等との連携」「人的資源の活用」で構成されています。各項目の下には小項目を付けています。



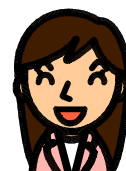
各小項目には、「研修の概要」にその項目で研修できる内容の概要を示しています。また、前半部分で基本的な事項を学んだ後、演習などを通して体験的な研修ができるように構成しています。



本テキストは、全教職員を対象としているので、基礎的なものから、専門的なものまで、幅広い内容が含まれています。幼児児童生徒の実態や教職員の実情に応じた活用ができます。



本テキストの活用にあたっては、項目順に研修する必要はありません。各校の研修課題、実施内容に応じて、必要な項目を研修に活用してください。



本テキストは、すべての内容を網羅的に研修するように編集しているわけではないので、各校の実情に即して、他の文献の活用、地域コーディネーターや外部の専門家の招へい等により、研修内容や方法を工夫しながら進めていくことも重要です。

